

LWSCT (ライトウエイト・スポーツキャスティング・トーナメント)

大会趣旨

ライトウエイト・スポーツキャスティング・トーナメントは、キャスターの技術向上・
スポーツマンシップの高揚・マナーの向上を目的として開催するものとする。
またキャスターの技術向上においては、国際大会で頂点に立てる選手を育成を目指すものである。

《LWSCT競技規則》

2026. 1. 1版

■競技種目

- (1) 18gフリー種目

■競技規則

【タックル】

- (1) ガイド付ロッド及びインナーロッドのみ使用可。
(2) リールは自由とします。
※スピニングリール、ベイトキャスティングリールどちらでもOKです。
(3) ロッド・リールともに改造を認めます。

【ライン】

- (1) 競技用ライン・リーダーのメーカーは自由とします。
※モノフィラメントのみ使用可。(ナイロン、フロロカーボン等)
※金属を含むライン、及び編み込み糸は使用禁止とします。
(2) 競技用リーダーは必ず使用し競技用ラインと結束すること。
(3) 競技用ライン(以下ラインと表記)は最小直径0.250mm以上を使用してください。
※最小直径とはラインが扁平してる場合の短径を言う。
(4) 競技用リーダー(以下リーダーと表記)は最小直径0.350mm以上を使用してください。
(標準直径2.5号=0.260mm、5号=0.370mm)
(5) リーダーは投擲時、スプールに接触した部分が1回転以上巻かれていること。(投擲前に審判が確認)
(6) ライン・リーダー最小直径は投擲毎に計測します。(投擲後に審判が計測)
ライン計測はラインとリーダーの結び目よりライン側30cm、
リーダー計測はラインとリーダーの結び目よりリーダー側10cm離れた所を計測すること。
その他部分のライン・リーダーは適宜0~数ヶ所測定すること。
※ラインゲージで測ります。5/1000ほど圧縮されるので注意してください。
※ラインは放出された全ての部分で規定以上であること。(結び目両端規定外部分は除く)
※ラインは途中で継いであってもかまいません。(継目の間隔は5m以上あること)
ラインとラインの結び目の場合、両側30cm以内は最小直径規定は適用しない。
※リーダーは途中で継いであってはいけません。
※リーダーとしてテーパーちから糸は使用可能です。(ライン側最小直径は上記0.350mm以上)
※ラインはスプールとの接続部より1mは最小径規定を適用しない。
※リーダーとラインやシンカーとの結束に接着剤等の使用は不可とします。
(7) シンカーはリーダーとフリーノットで結ぶこと。(シンカーの破損防止のため)
※フリーノットはコート着地後、リーダーを持ちシンカーの自重で垂らし
シンカー後端と結び目内側頂点との隙間が2mm以上有ること。

【リーダーに関するローカルルール】

- 競技場の事情で下記ローカルルールを認める。
※ただし、大会要項に明記し、他の規則は守ること。
(1) リーダーはシンカーの結び目よりリーダー側10cm離れた所で最少直径0.450mm以上有ること。
ラインとの結び目よりリーダー側30cm離れた所で最少直径0.270mm以上有ること。
(標準直径3号=0.285mm、8号=0.470mm)
(2) テーパーちから糸の使用も認める。
(市販の3-8号より太いテーパー力糸が合致します。)

【シンカー】

- (1) シンカーはシマノラバーシンカー18g（シマノ市販品）を使用します。
- (2) ラインとシンカーの接続に接続具（スナップ等）の使用は不可とします。
- (3) シンカーの加工は不可とします。

※ただしリーダーを結束する時に出来た変形は可とします。

【競技（投擲・巻き取り）】

- (1) 投擲方法は自由です。（ダブルシングルOK）
※必ずロッドとリールを使用して競技すること。
- (2) 主審によるスタートの合図から1分以内に投擲を終了してください。
（投擲はリリースした時点で完了とします。）
※大会時間の状況により投擲時間は変更可能。（30秒等）
- (3) 主審の合図があるまで投擲エリアより出ないでください。
- (4) 競技タックルで競技ライン・リーダーを巻き取ること。
- (5) ロッドはガイドもしくはロッドのインナー部、（開口部）の無い部分を最低1箇所はラインが通った状態で競技すること。（通過位置はリールの先端より50cm以上とします。）
※スピニングリールではスプールが一番前に出た位置を基準とします。

【計測】

- (1) 投擲後シンカーが0.5秒静止した地点を投擲確定位置とします。
（すなわちバウンドしてる間は静止していない。）
※0.5秒以上たって引きずったものは無効。
（審判が止めて0.5秒静止した位置にペグを打つこと。）
- (2) 距離計測は投擲エリアの基準点よりコート内シンカーの最遠距離を直線計測します。
記録はcm単位での表示とします。（mmは切り捨て。）
- (3) 距離計測はレーザー計測器を用います。（レーザーは基準点に設置すること。）
- (4) レーザーと反射板の高さは一致させ、反射板はレーザー光に対して直角にすること。
※直線計測・高さ・直角がずれると大幅に数値が変わりcm単位での記録が意味をなさないため。
（レーザーが準備出来ない場合はメジャーを使用しても可）

【ファウル】

- (1) 投擲順番が来ても正当な理由がなく投擲スタートができない場合。
- (2) 投擲規定時間を越えた場合。
- (3) 投擲エリア外に身体（ウェア・シューズ・その他身体に着けたもの全て）の一部がふれた場合。
※但し、身体から離れた物は除く。
- (4) タックル（ロッド・リール）が身体より離れて投擲エリア外に全て出た場合。
※但し、一部でも投擲エリア内の地面に接触していればセーフ。
- (5) 投擲ラインより前方にタックル（ロッド・リール・シンカー・ライン）がふれた場合。
※シンカー・ラインは投擲ラインより前方にふれた時点で投擲終了をすれば有効投擲とする。
ただし投擲ラインより前方にふれたシンカーを再度投擲ラインより後方に戻せばファウルとする。
※投擲ラインは投擲エリア前方ラインの内側延長線とする。
- (6) シンカーが着地確認する前にラインが切れた場合。（審判が確認後切れた場合はOK）
- (7) シンカーの全部がコート外に出た（サイドラインは外側が有効）場合。
※一部でもシンカーがコート上にあればファウルにはなりません。
- (8) 主審の合図なしに投擲エリアより出た場合。
- (9) 審判の合図がある前にラインを巻き取り始めた場合。
- (10) 使用ライン・リーダーを巻き取れない場合はその投擲をファウルとします。
- (11) タックルをひもやストラップ等で身体に固定した場合。
※手袋等の使用はOKですがストラップと同等の効果がある場合はファウル。
- (12) 電動やバネ等パワーをアシストする道具を使った場合。
- (13) 競技規則に反する場合。

【失格】

- (1) 審判の警告を無視した場合。
- (2) スポーツマンシップを汚す行為をした場合。

【記録】

- (1) 3投方式（事情により投擲回数を減らす変更は可とします。）のなかでの最長距離にて決定。
- (2) 記録は悪天候などで試合を中断した場合、参加者全員が1投以上終了していれば有効とします。
 - ※1人でも投擲を終了していないラウンドは無効となります。
 - ※1人でも投擲シンカーが0.5秒以上静止しない天候条件のラウンドは無効となります。

【無効大会】

- (1) 悪天候等により全ての投擲ラウンドが成立しない場合。

【順位決定方法】

- (1) 最長距離が大きい方を上位とします。
 - 同飛距離の場合は、次点距離、次々点距離にて決定します。
 - 全投擲が同じ場合、同順とします。
 - 全投擲がファールの場合は、順位はありません。

【その他】

- (1) 進行を妨げる競技中のタックルの貸し借りは禁止とします。（両名とも失格といたします。）
 - ※代理出場は認めません。（失格といたします。）
- (2) 滑り止めや潤滑剤の使用はOKですが競技場の規定で使用禁止の場合はそのルールに従うこと。
- (3) 審判判断・計測等に異義がある場合はその場で申し出ること。

【競技コート】

(1) 競技コートは100m地点で左右の幅が50mあるV字形コートを使用します。

(条件が許す限りコートは追い風向きに設置すること。)

※サイドラインはロープの外側を有効とします。

(2) 投擲エリアは基準点に接する前後6m・左右3mとします。

※投擲エリアはロープの内側を有効とします。

※投擲エリア前方は投擲板等で段差を設けること。

(3) コートは同一投擲ラウンド中では変更しないこと。

(投擲ラウンドが替わった場合はコートの変更は可とします。)

